

令和2年2月28日
名鉄西部交通株式会社

企業型確定拠出年金制度（企業型DC制度）の導入について

名鉄西部交通グループ（取締役社長：小川 健司、本社：愛知県一宮市）では令和2年4月より企業型確定拠出年金（企業型DC）制度を導入することとなりました。

企業型DCとは、企業が掛金を毎月積み立てし、従業員が掛金をもとに金融商品の選択や資産配分の決定など自ら年金資産の運用を行う制度です。

制度導入の目的は、福利厚生としての制度の充実、投資教育を通じて従業員自身が老後まで見据えた人生設計を考える一助とすることやその意識の醸成、また制度を利用したい方々に向けた採用の強化や従業員の定着率の向上に繋げていくことでもあります。

また、企業型DCの導入につきましては、人材の流動性が極めて高いとされるタクシー業界としては大変珍しいことであり、今後も従業員を始め求職者からも魅力ある会社にしていきたいという思いも込めております。

弊社では、これからも福利厚生の充実や従業員がいきいきと働くことができる環境作りに力を注ぎ、人材確保・定着率の向上を通じて公共交通サービスの安定供給や地域の発展に努めていく所存であります。

以上